



▲お母さんたちもリラックス。「同じ年ごろの子どもがいるので、いろいろな情報が交換できます」

した姿を間近に見て、私たちも地域の親子と楽しい時間を共有したいという思いを一層強めました」と、二人は口をそろえます。

それから二人は、親子の交流の場の開催に向けて、区役所と何度も打ち合わせを重ねました。すべてが初めてのことだったので、子どもが安全に遊べるための工夫やお母さんたちのコミュニケーションの取り方などを一つ一つ学ぶ必要があったからです。そのほかにも、お母さんたちにアドバイスできる子育て経験者のボランティアを募ったり、より多くのお母さんたちに参加してもらうためにチラシを作って配ったりと、準備を進めてきました。

開催当日の朝まで、参加者が少なかったらどうしようという不安を抱いていた二人でしたが、受け付けを開始すると次々と元気な親子が訪れ、二人の表情にも笑顔が戻りました。約百人もの親子が集まり大にぎわいの会場では、子どもたちは楽しく遊び、お母さん同

士も会話に花を咲かせます。坂本さんも芳村さんも「お母さんたちにこれほど喜んでもらえてうれしいです。私たちも元気を分けてもらいました」と満足そうです。地域で生まれた「子育てひろば じゃんけんぽん」。これからも、地域の人たちと親子が楽しく交流できる憩いの場として、みんなに親しまれることでしょう。



子育てを支える地域の思いやり

地域に親子の交流の場を作ろうという動きは、ほかの地区でも生まれています。拓北・あいの里地区では、六月十一日に、同地区の福祉のまち推進センターと民生委員児童委員協議会が協力して「ひまわりクラブ」を開催しました。会場には交流の場を求めている地域の親子約四十人が集まり、楽しいひとときを過ごしました。この



▲たくさんの人たちが集まった「ひまわりクラブ」。地域の人たちの期待の大きさが分かります



▲自分の子育て体験を紹介する高橋さん(左)。「子育ては、いかに楽しむながらできるかがポイントよ」

交流を支えたものの一つに、地域のボランティアの温かな思いやりがあります。

町内会からボランティアとして参加していた高橋順子さんは、なかなか会話の輪に入っていけないお母さんを、同じ年ごろの子どもを持つお母さんたちの輪の中に誘っていました。それは、「私自身、一人で子どもを連れていたときに、『こっちで一緒に話しましょう』と声を掛けてもらい、仲間づくり

ができたことがとてもうれしかった」という高橋さんの子育て中の体験を生かした気配りでした。福祉のまち推進センターの荒谷由起子さんも、「引つ込み思案のお母さんに対する気配りまでは、私たちも気が付きませんでした。子育てを経験した人がボランティアとして参加してくれたおかげですね」と喜びます。

「ひまわりクラブ」には、このような子育ての先輩である地域の人たちの優しさが、たくさんあふれていました。

子どもの健やかな成長や楽しい子育てには、さまざまな人とのふれあいが必要です。地域ぐるみで子育てを支え合うこのような取り組みを、あなたのまちでも始めてみませんか。



皆さんも参加してみませんか

「じゃんけんぽん」と「ひまわりクラブ」では、参加者やボランティアを募集しています。お気軽にお問い合わせください。

【じゃんけんぽん】

会場 北会館(北29西7)

日時 毎月第2木曜日 10:00~正午
(8月と1月は除く)

【ひまわりクラブ】

会場 拓北パレス会館(拓北3-4)

日時 毎月第2水曜日 10:00~11:30
(8月と2月は除く)

<問い合わせ先>

北区保健福祉サービス課子育て支援
担当係 ☎757-2400内線415